

ねんきん埼玉

2023年12月15日
第337号

全日本年金者組合 埼玉県本部
〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-53-16
TEL 048-686-2044 FAX 048-686-2144
メール: nenkinsaitama@kzh.biglobe.ne.jp



「第9回輝け！女性のつどい」開催 講演も紅葉も すばらしかった

幾度も話し合いを重ね、
「第9回輝け！女性」において34名の参加で
性のつどいは11月21日・22日の両日、国立
女性教育会館（嵐山町）
開かれました。1日目は講演会。夕



イトルは『世界の貧困と難民・移民問題』、
講師は清水直子さん。

清水さんは、コンゴの男性と結婚したことをきっかけにコンゴ民主共和国で生活。世界の最貧国の一つと言われ、生活環境も衛生環境も劣悪なコンゴの下町の人々の暮らしを、映像を使って話されました。
また、難民の認定基準の厳しさについて清水さんは、「日本の入管法は移民を受けられない政策なのか。世界の貧困と難民問題について考えるとき、いま世界で起こっていることを正しく理解し、私たちにできることは何

かを考えたい。他の国の人を同じ人間と認めること、世界はつながっているのです」と、訴えました。
夜は「思いっきり語ろう！」「一緒に歌おう♪」の2グループに分かれて秋の夜長を楽しみました。「時間足りなかつたな」「歌声楽しかつた」「思いっきり歌つた」の声多し。
2日目は、嵐山渓谷へ。みごとな紅葉の



「嵐山町名発祥之碑」の前で

谷散策を満喫しました。一泊研修会、楽しくそして勉強になった「つどい」となりました。

狼煙

2023. 12.1

11月27日から5日間、ニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約の第2回締約国会議が開催された。核兵器を初めて全面的に違法化した条約は、2021年に発効▼日本政府は昨年のウイーンでの第1回会議に続き今回も参加をしていない。93か国が署名し、69か国が加盟。NATO加盟国のドイツ、ベルギー、ノルウェーがオブザーバーとして参加▼長崎で被爆した被団協の木戸事務局長は、冒頭の挨拶で「ウクライナとガザから伝えられる光景は被爆者にとつてあの日の再来です」と危機感に満ちた発言。広島市長、長崎市長は今年の平和宣言で核抑止論を厳しく批判している▼広島、長崎に続いてピキニ環境での水爆実験により、第五福竜丸と共に1422隻が被曝し三度目の被爆。「原爆許すまじ」の歌詞の通り、四度許すまじ原爆を世界の上に！世界の声に！（う）



【写真】閉会集会で、高齢者の尊厳を守るため様々な要求が示されました

日本高齢者大会 in 東京

日本高齢者大会が開かれ、11月12日は大正大学で学習講座・分科会が、13日は文京シビックホールで柳澤協二さんの講演が行われました。1300人を超える人が参加し、来年は愛知で開催のバトンが渡され閉会しました。

近隣諸国との友好関係が大事

矢部敏治（春日部支部）

高齢者大会に参加して、2日目の講演は、非戦の安全保障論で、戦争をしない為に今日本に生きている私達が、世代間ギャップを乗り越えて、手を取り合えるかが重要です。せめて近隣諸国とは、友好的な話し合いの場が、常に開かれていることが大切だと感じました。市民の側から、今起きている戦争を直ちに停戦、休戦するように訴える意思表示するべきだと思います。日本の政府に考えを改めさせ、国連の多くの国々と歩調を合わせるべき時は、今あることを認識させましょう。年金者組合もその一翼を担うべき時と感じています。

深刻さ増す交通問題

菊池秀樹（深谷支部）

第9分科会の「高齢者の足・交通の問題と移動の権利」に参加しました。可児典雄先生（愛知大学）は、「私たちが抱えている買い物に行けない、自動車を手

気候危機乗切るために

町田伸吾（北本支部）

今年の夏は今までに無い暑い夏でした。このような夏が毎年やってくるのだろうか？また夏と冬だけで、四季が無くなってしまうのだろうか？心配になってしまいます。そんな折、日本高齢者大会の講座の一つに「気候の危機をどう受け止めるか」があり参加してきました。地球はいま寒冷期に入っている、気温は下がらなければならぬのに+1℃も上昇しているとのこと。この主な原因は「温室効果ガス排出量」になります。そして「温室効果ガス排出量」

放せない、バス停まで歩いてゆけないなど深刻で切実な交通問題にした要因の一つは、戦後からの国の交通政策にある」と、その問題点を話されました。60年代のモータリゼーションにより地域交通の衰退と公共交通を中心とした交通政策を打ち出すことができなかった

たこと、自動車事故の多発、運輸事業の規制緩和政策がさらに深刻さをもたらしたと指摘し、現在も国は、公共交通をどう活性化するか、私たちの暮らしと命を守るための公共交通のあり方の議論が欠如した政策になっていると批判しました。

で最も多い物が「化石燃料」になり、これは人間活動によって生成されたものになります。2015年のパリ協定で1.5℃に抑える努力目標が決まりましたが、到達するのは時間の問題らしく、南極の水が近年の調査で過去最低になったそうです。この影響を最も深刻に受けるのが原因に責任の無い人達になります。「脱炭素化」が叫ばれていますが、正確には「脱炭素」ではなく「脱化石燃料」と言うべきで、必要な「炭素」までを排除するべきではないとのことでした。ここには記載しきれませんが、とても有意義な2時間の講座でした。

第28回 埼玉県高齢者大会

まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう！

全体会

12月4日(月)、川越市にあるウエスタ川越で埼玉県高齢者大会が行われ参加してきまし

た。オープニングは岩槻支部のサークル(はぐれ雲)による朗読劇「松山鏡」が演じられま

した。参加者のみなさん、ぶっつけ本番のような状態でしたが、殿様から褒美でもらった鏡で自分の顔を見て、親父の顔と間違え、そっと楽しんでいたが、女房が葛籠の中の鏡を見るが、



自分の顔とは知らずに亭主に嫉妬して怒り、最後の落ちもおかしく、会場を楽しませてくれました。

主催者代表で、宇佐美県本部委員長があいさつをし、来賓では、埼玉連の新島議長があいさつをされました。

記念講演

「岸田政権の狙う大軍拡路線」

記念講演では、元経産省の古賀茂明さんによる講演がありました。

安倍政権時、国家安全保障会議が設置され、この中で軍拡路線が検討され、特に岸田政権になって、武器輸出3原則がないがしろにされて、武器の輸出が現実のものになってきている。台湾有事が言われているが、

アメリカが手を出さない限り起こらない。日本の国債は、GDP比266%に達しており、3年以内に破産するといふアナリストもいるなどを話しましたが、わたしが残念に思ったのは、現状を打開する展望を語ってほしかった。



古賀茂明さん

伊島 将夫

学習講座 ③ 「人権を守る闘いが社会保障を前進させた」

90歳の篠崎次男さん(日本高齢期

運動連絡会顧問)は資料を見ることも無く終始滑らかな口調で今までに勝ち取った社会保障の数々を話されました。

中でも青森県八戸市で集団発生した小児マヒ。日本では未承認のワクチンを母親たちの頑張りでソ連から導入し予防できた。



篠崎次男さん

62年には発生がほぼ0になったことなど。

自分ではどうにもできないことを声をあげあきらめないで闘い、運動をしていきましよう。

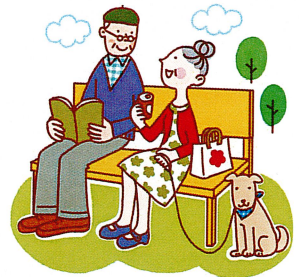
川越支部 白井 美智子

シリーズ 最高裁で勝利判決を

「上告理由書」で主張していること ③

「理由書」は、「長年にわたり保険料を納付して得られる基礎年金額が、保険料の納付を要しない生活保護費よりも低額となることは、社会保障制度としては破綻している。そのことであつて、基礎年金には最低保障機能があることは、平成24年改正法に至るまでの当然の前提とされていた。高齢者への生活保障を高齢基礎年金のみでまかなう制度設計はされていない、などという国の主張が事実と反していることは明らかである」(14頁)とし、阿部正明さんの生活実態を示しています。「理由書」は「阿部は、18歳の時から理容師として働き始めた」と始まります。阿部さんは、昭和38年頃に田無に店舗を借りて独立、昭和46年には、狭山の今の場所店舗を構え、理容師として約67年仕事をしてきました。「夫婦二人の年金を合わせても、年金収入は10万円に届いていない。これは、生活扶助の年金額を優に下回ることから明らか」であり、そこから阿部さん夫婦合わせて毎月医療費が2万7千円ほどかかることや家屋の修繕費等もかかり、預貯金を切り崩してきているが残り少なくなつてきていて不安な生活を送っているとのことです。「理由書」は、「阿部のように、生活扶助の基準額を下回る年金給付しか受けていない」者からも一律に年金を引下げるのは「生存権(憲法25条1項)を侵害するもの」として、適用違憲だと糾弾しています。

拡大できた支部も、出来なかった支部も、みんな頑張っています



目標達成した支部は11支部に

達成支部

- ☆富士見支部
- ☆久喜支部
- ☆和光支部
- ☆狭山支部
- ☆三芳支部
- ☆白岡支部
- ☆所沢支部
- ☆入間支部
- ☆菖蒲支部
- ☆新座支部
- ☆松伏支部

◆【さいたま見沼支部】
11月25日のリングゴ狩りに未加入者2人を誘うことに成功。この二人を説得する。

◆【与野支部】
吉原県本部執行委員が1名拡大。酒井さんが対象者訪問するも断られる。

◆【蕨支部】
「カラオケを楽しむ会」に11人参加。一人が加入。「秋の仲間づくり」、目標達成(10人)へあと5人！何とかしたい。

◆【戸田支部】
秋の一泊旅行で、未組合員参加5人のうち、4人が加入。栞を渡して訴えた。

◆【川越支部】
11月12日、13日で

◆【嵐山支部】
4年ぶりの一泊旅行を行う。とても楽しかったですが、バスの中でマイクなしだったのが残念。

◆【新座支部】
2024年度予算要求懇談会、現行保険証の存続を求める請願書提出。

◆【上福岡支部】
運営委員会に19人参加。給食費無償化署名を市に提出。

◆【富士見支部】
連続拡大、255ヵ月となる。自主目標15人を3人オーバーし、18人となる。

◆【三芳支部】
卓球サークルで1

名加入。11月19日、20日の一泊旅行で、加入増を目指します。

◆【越谷支部】
芋煮会&誕生会に45人参加。

◆【鷲宮支部】
文化祭・11月生まれの誕生会で1名加入。

◆【久喜支部】
11月12日、13日の清里・八ヶ岳方面バス旅行を実施。この中で1名拡大。Tさんが亡くなる。その息子さん(58歳)が加入。

◆【菖蒲支部】
拡大には至らなかったものの、11月例会に参加した未組合員の参加者に加入を呼びかける。給食署名と併せて、組合資料を数名に渡す。

◆【羽生支部】
昼食会に参加した未加入の方1名に訴える。

◆【大利根支部】

北川辺支部と合同で日帰りバス旅行を行う。バスの中で組合加入を訴える。

◆【行田支部】
リングゴ狩りに25人参加。拡大用リーフレットを手渡す。保険証を任せの宣伝行動で署名もお願いしている。

◆【狭山支部】
今回は、収穫祭や共同墓の見学会を通じて仲間増やしができた。継続的に年金者組合の活動やサークルや共済を通じて仲間増やしを行う。

◆【飯能支部】
11月19日、20日の一泊旅行にお誘いしたが成果なし。文化祭に参加した方に入ってもらおうと、7名に呼び掛け文とリーフ・新聞を届けることにした。

(以上は各支部の拡大月間報告からの抜粋です)

第68回日本母親大会 in 山口報告 矢島 啓子

11月25日〜26日、山口市のKDDIホールをメインに開かれ、八木女性部長と母親

大会担当の矢島が参加しました。参加者は現地に20000人、オンライン1万人で



- ① 壇上に勢揃いした各都道府県代表によるプラカード(上)
- ② 神楽の衣装を纏った北山中子ども神楽の皆さん(右下)
- ③ 埼玉県本部から参加した八木副委員長、矢島書記次長(左下)

した。「平和な未来を子どもたちに」「ジェンダー平等を」と行動する全国の仲間たちが集まり、開催地山口と平和運動等の交流をしました。オープニングの文化行事では、下関合唱団の歌声や岩国市の北山中子ども神楽が会場いっぱいに舞いました。全体の講師は、室蘭工業大学の清

末愛砂さんで、23年間パレスチナ難民問題に取り組み、ガザで出張アトリエを通して子どもたちに指導している様子が紹介されました。イスラエルの攻撃を強く批判し、日本国憲法前文、9条・24条の平和生存権は全世界に向けたものだとして強調しました。

2日目の特別企画「金子みすゞの世界」は、みすゞ少年少女合唱団が詩を歌声に乗せて響かせてくれた。ゆう琴(④写真)演奏と詩の朗読もありました。作家の松本侑子さんが「金子みすゞの生涯と詩とジェンダー」と題して講演されました。金子みすゞは500余りの投稿もして生きたことがなく、近年



になって注目が集まり教科書にも載っています。弟さんの事など知らない事が多く感動しました。大変実りの多い2日間でした。



新シリーズ - 1

わが街の美味しいもん 「うどんの町加須」

加須支部 田村 敏幸

「節分会」で知られる「不動ヶ岡不動尊總願寺」にお出でがてら、「加須のうどん」をご賞味なさってはいかがでしょうか。

加須駅前通りを北へ

3分。交差点手前、商工会議所2階の「手打ちうどん会」に寄って、「スタンプラリーマップ」を入手することをお勧めします。「マップ」で「うどん会」の20店舗を案内しています。市内「手打ちうどん」店の約半数が掲載されているそうです。

不動ヶ岡不動尊まで「手打ちうどん会」のお店は5軒。「マップ」にないお店も同程度か。友人たちにごひいきの店を聞いてみました。「つかさ」のカレーうどんが絶品。「おおはし」の田舎汁は家庭的。「子亀」の冷汁うどんは定番。「大島庵」も落とせないそうです。「マップ」にないお店では、「めんこや岡安」。鴻巣方面から車でお出ででしたら、清酒力士の「釜屋」の近くです。酒蔵見学と組み合わせると面白いでしょう。

あのみち
このまち
新発見



スタンプラリーマップ

所沢支部

日帰りバス旅行 横須賀&三浦漁港へ

長岡 和明



所沢支部では、コロナ禍前は一泊旅行と日帰りバス旅行を行ってきました。支部の大きなイベントのひとつで毎回多くの組合員が参加していました。コロナ禍で一泊旅行は困難になりましたが、日帰りバス旅行は、コロナの流行の様子を見ながら実施してきました。今年は、久々に海の見えるところというところで、横須賀と三浦漁港を巡るバス旅行を実施しました。アメリカ海軍の原子力空母の母港である横須賀港の現実を目の当たりにし、未だに日本は半植民地状態であることを体感しました。参加者は最高齢88歳から61歳の45人。以前のようにバスの中ではみんなで歌ったりすることはできませんが、クイズや参加者の様々な思いなどを交流し、楽しくもあり学びも多いバス旅行になりました。

狭山支部

荒幡農園収穫 野菜も笑顔も大豊作

中野 隆夫



待ちに待った収穫祭、青空のもと開催されました。50人を超える参加者。収穫する喜びを体験、仲間との楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

今年も土づくりを3月から始め、夏には甘く大きなスイカを食べ、異常気象の高温を乗り切り、秋を迎えました。荒幡さんの挨拶で収穫祭はスタート。

サツマイモ、里芋、大根、ニンジンなどの野菜を収穫、持ちきれないほどの野菜を抱えてみな笑顔になっていました。作業が一段落し、日野口さん一家が用意した豚汁、焼イモ、組合員のみなさんが用意した赤飯、漬物などが振る舞われ、食事、談笑・内笹井さんのハモニカに合わせて「赤とんぼ」などの懐かしい歌を口ずさみ楽しい時間を過ごしました。

最後に、荒幡さんより「来年は腕によりをかけ、今年以上に野菜を作り、収穫祭が楽しく迎えられるよう、私も頑張ります」との挨拶で収穫祭を無事終了しました。

自慢のサークル紹介 13 絵画サークル

栗橋支部



「絵どころや経験はないが、身近にある物や風景など描けたらいいな：」9年程前のおしゃべり会でこんな話題がきっかけになり、絵画サークルが8人で結成されました。現在は4人で月1回、先生は組合員で気心の通う仲間、ついおしゃべりが弾み

「最初は果物や花などから始まり今では風景画まで描けるようになりました。皆さんと半先生のお陰で最後の楽しみができました。感謝です」(池田智恵)

毎年2月に行われる「公民館利用団体作品展」には絵画サークルから全員が出品、写真や書など含め20点を越える作品が年金者組合のコーナーに展示されてきました。

「絵どころや経験はないが、身近にある物や風景など描けたらいいな：」9年程前のおしゃべり会でこんな話題がきっかけになり、絵画サークルが8人で結成されました。現在は4人で月1回、先生は組合員で気心の通う仲間、ついおしゃべりが弾み

「最初は果物や花などから始まり今では風景画まで描けるようになりました。皆さんと半先生のお陰で最後の楽しみができました。感謝です」(池田智恵)

栗山 富次

身近な物や風景が描けるよ!

今月の絵手紙

広山志保子
越生支部

支部だより



鳩ヶ谷支部

バスハイクで三人組合加入

紅葉の山道に感動

鳩ヶ谷支部ハイキングクラブは10月20日、21名で旧碓氷峠バスハイクに行つてきました。

旧軽井沢のバス駐車場を出発、街並みを通り「わいわいがやがや」と2時間余

り掛けて紅葉の山道を、手を取り合い旧碓氷峠の見晴台に着。見晴台からは秩父連山等の山並みや雲海も見れて「最高の声があがっていました。参加者からは「みんなで食べるお昼のおにぎり、漬物は美味しく、山から吹き抜ける風は気持ち良かった」と、はなしていました。

下りは峠から地元

の観光「赤バス」を利用する人と下山コースを歩く人に分かれ、無事に旧軽井沢で合流できました。「疲れたけど山いいね！」の声が寄せられました。

バス車中では、役員から年金者組合の活動紹介と仲間づくりの協力を呼びかけました。2人の未加

見晴台での記念写真



入の方は快く加入、参加者の一人からは友達に加入を呼びかけてくれることになり、数日後加入書が届きました。楽しい行事を通じて年金者組合に仲間を迎えることができました。

年金文芸

短歌

たい焼きにアイスコーヒー屋下がり
グラスの中を泳ぎたくなる

荻野和子(所沢)

久々に会いたる娘の化粧濃く
暮らしの変化あつたか聞けず
きく子(三郷)

さわやかな風に香をのせ金木犀
もう秋ですと知らせるように
柳沢順子(岩槻)

俳句

稲刈りに帰農の君に友集う

丸山かほる(戸田)

茶の花が咲いて猫みて峡の宿

青木富佐子(秩父)

落ち穂拾ひ又三郎の声がする

榎本恵美子(富士見)

川柳

支持率を気に掛け政策ばらまきし

青山 悠(浦和)

五線譜で足りぬ人生浮き沈み

篠田広一(鴻巣)

汚染水海が最終処分場

福家駿吉(春日部)

個人賠償保険の加入申込を受け付け

人・物・車 事故の前にこの保険

個人またはその家族が、日常生活で誤って他人にケガをさせてしまったり、他人のモノを壊してしまったりして、法律上の損害賠償責任を負った場合の損害を補償する保険です。

例えば、「排水口の排水管のさびつきや内装を汚した」、「自転車が倒れて自

車を傷つけた」、「子どもが自転車で転倒、その後ろから自転車で直進していた人が避けきれずに転倒して、ケガをした」事例もあったそうです。

年間2530円の保険料を払えば、組合員本人や同居の親族が起こした事故で補償(最高1億円)されます。ただし、自転車の使用や管理による事故は個人賠償責任保険の対象になりません。

個人賠償責任保険の加入を考えている方は支部の共済担当者に声をかけてください。

※すでに加入されている方で、今年も継続する方は書類の提出はありません。共済担当者に「継続する」旨を伝えましょう。

石井 力
(共済理事)

「保険あって介護なし」は許さない

厚生労働省は介護保険の利用料2割負担の対象者拡大を審議会に諮っています。審議会委員の中でも負担増に反対をいう委員がいる中、議論を打ち切り、来年の予算編成のなかで決めることとしました。来年は介護保険料の3年毎の見直しの年です。

これまでも見直しの度に保険料が引き上げられ、利用料を上げることは、保険あって、介護無しと言わざるを得ません。

伊島將夫

入ってよかった共済

交通災害共済に 皆さん加入しましょう

6月初め新聞を配ろうと自転車で自宅から出たところで、自動車とぶつかりそうになり転倒しました。左足が、自転車の前輪の下に入りました。幸い骨折はしなかったものの内出血と痛みが強く近くのクリニックに行きました。痛み止めを処方されましたが痛みは取れず、もっと精密の検査をとお願いして TMGの整形外科を紹介されました。検査の結果は、コンポジット症候群との診断で即入院。歩行禁止と言われ3週間入院となりました。

支部の共済担当の大田さんをお願いして、手続きをしました。10月になりましたが、年金埼玉共済会から予想以上の金額が振り込まれました。わずかな掛金で助かりました。

自転車に乗る方は勿論、多くの皆さんが、年金者組合の交通災害共済に加入してはどうでしょうか。

大塚 進 (朝霞支部)

新春のつとめ

期 日：2024年1月18日 (木)

13:00開会

会 場：さいたま共済会館

参加費：4000円 (予定)

内 容：各ブロック披露・決意表明 (10分以内)

参 加：100人~120人

